

コレクションより



&



ラブ & ライフ



小幡正雄 結婚式 1996-2009年 色鉛筆、段ボール

2022. 2. 26 | 土 | → 3. 27 | 日 |

- 休館日 月曜日（ただし3月21日は開館）、
3月22日（火）
- 開館時間 午前9時30分～午後5時
観覧券の販売は午後4時30分まで
- 観覧料 一般 600円（450円）、大学生・高校生 500円（350円）、
中学生以下無料
※（ ）内は、20名以上の団体、リピーター割引料金
※本展観覧券の半券提示で本展2回目は団体割引
※障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方および一部の
介助者は無料（受付でご提示下さい）
- 主催 新潟市美術館

※新型コロナウイルス感染症対策にご協力をお願いいたします。
詳しくは当館ウェブサイト「新着情報」でご確認ください。

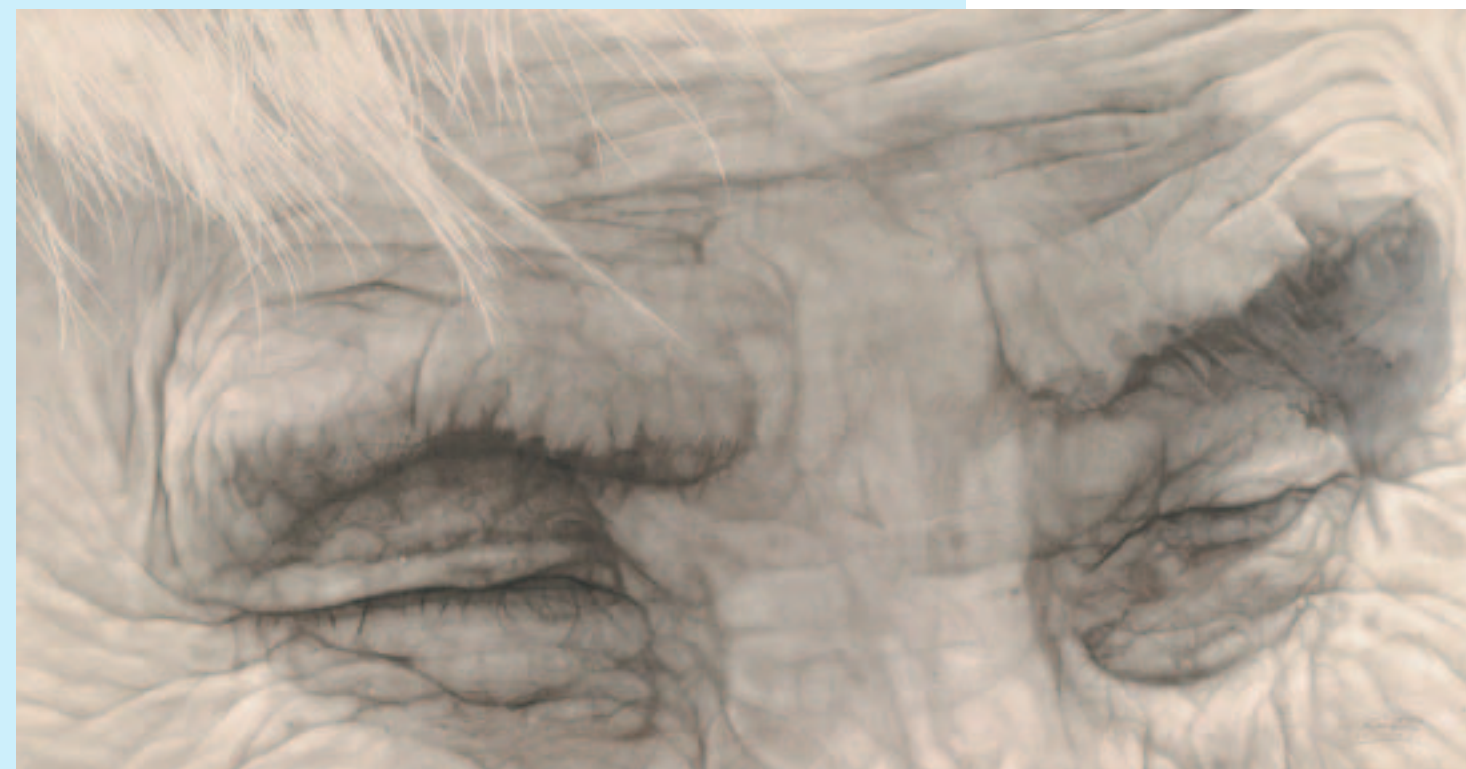


新潟市美術館

Niigata City Art Museum

〒951-8556 新潟市中央区西大畑町 5191-9
tel: 025-223-1622 fax: 025-228-3051 museum@city.niigata.lg.jp
www.ncam.jp  www.facebook.com/ncam.tsunagaru/

愛をこめて



木下晋 100年の視力 2001年 鉛筆、ケント紙

命のかたち



ウジェーヌ・カリエール
もの思いにふける若い娘（三連画の一点）
1894～1902年頃 油彩、カンバス

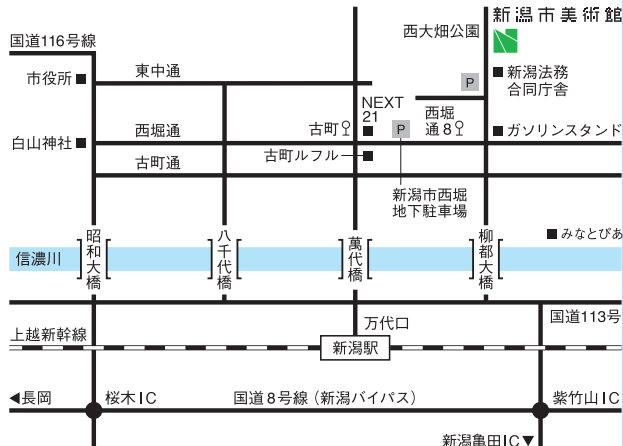
同時開催

♥Lounge N きままプログラム
LOVE & LIFE 展開連企画を実施します。

新潟市新津美術館の展覧会 tel: 0250-25-1300
「新潟市美術館・新津美術館所蔵品による 秋葉区ゆかりの作家たち」
2022年1月22日(土)～3月6日(日)

交通のご案内

- ▶バスで（新潟駅万代口バスターミナルから）
〔C6八千代橋線〕乗車約16分→「西堀通八番町」下車→徒歩5分（約400m）
※便数は多くありませんが美術館最寄りのバス停です。
〔B1萬代橋ライン(BRT)など〕乗車約10分→「古町」下車→徒歩12分（約860m）
※古町で停まるバスは最も便数が多いです。
- ▶タクシーで
新潟駅万代口から約10分
- ▶自家用車（無料駐車場最大46台）
〔高速道路〕日本海東北自動車道 新潟亀田ICを降り、柳都大橋経由で約20分
〔国道8号線（新潟バイパス）〕紫竹山ICを降り、柳都大橋経由で約15分
※駐車場は混雑する場合があります。
「新潟市西堀地下駐車場」の駐車券のご提示で60分無料券をお渡ししています。



草間彌生 自画像 1995年 エッチング、紙



オディロン・ルドン 丸い光の中の子供 1900年頃
パステル、紙



ピエール・ボナール 浴室の裸婦 1907年 油彩、カンバス



草間彌生 南瓜（左から、小 1983年/中 1985年/大 1985年）
ミクストメディア



坂口綱男 安吾のいる風景—礼拝堂 撮影：1982年
プリント：1983年 ゼラチンシルバープリント
新潟市新津美術館蔵



小山田二郎 漂着物 1972年 油彩、カンバス

LOVE & LIFE コレクションより愛をこめて

新潟市美術館
Niigata City Art Museum

〒951-8556 新潟市中央区西大畑町 5191-9
tel: 025-223-1622 fax: 025-228-3051 museum@city.niigata.lg.jp
www.ncam.jp www.facebook.com/ncam.tsunagaru/



谷川晃一 森の記憶Ⅲ 1991年 シルクスクリーン、紙



式場底謡子 古代のヒト（母と子） 1998年
木版、紙 新潟市新津美術館蔵

関連事業

♥講演会『画家・木下晋 作品の世界を語る』

日時：2022年3月6日(日)午後2時～3時30分
講師：木下晋氏(画家、出品作家) インタビュアー：青木裕子氏(元NHKアナウンサー)
会場：新潟市美術館 2F 講堂
※要申し込み(定員100名)、聴講無料
往復はがきに、参加人数(1通につき2名まで)、参加者全員の氏名・住所・電話番号・
「木下晋講演会」を明記の上、美術館(〒951-8556 住所省略可)まで、お申込みください。
2月18日(金)必着。応募多数の場合は抽選となります。

♥美術講座『障がい者アートあれやこれや』

日時：2022年3月19日(土)午後2時～3時30分
講師：前山裕司(当館館長)
会場：新潟市美術館 2F 講堂
※申し込み不要(先着100名)、聴講無料
※感染症対策として、ご来場の際に氏名・連絡先の提供をお願いいたします。

♥『LOVE&LIFE 愛と命をめぐる展覧会の、いろいろ』

日時：2022年3月4日(金)午後6時30分～7時30分
講師：児矢野あゆみ(当館学芸員)
主催：楓画廊
会場：医学町画廊 studio(新潟市中央区東中通1番町86-19)
※要申し込み(定員12名)、参加費500円
※申し込み方法等、詳細については、楓画廊(kaedegaro@au.com)までお問い合わせください。

♥担当学芸員による作品解説会

3月13日(日)、20日(日) 各日午後2時～(30分程度)
※直接、新潟市美術館 企画展示室にお越しください。
※当日の観覧券が必要となります。

LOVE と LIFE。この言葉を目にした時に、
あなたはどんなことを考えるのでしょうか。ふた
つの言葉には、はっきりとした境界線がないかも
しれません。愛を語れば命に繋がり、命を語れば
愛に行き着く。分ち難く結ばれた愛と命につい
て、新潟市美術館と新潟市新津美術館が所蔵する
約200点の作品を通して見つめます。

草間彌生(1929-)が謳う万物への愛、カリエール
(1849-1906)による穏やかな家族愛、そして
谷川晃一(1938-)の版画に潜む無数の生命のざわ
めき。小幡正雄(1943-2010)は、結婚式や一家
団らんの様子など、自身が経験することのなかつ
た幸せな愛の風景を素朴なタッチで描きました。
木下晋(1947-)による鉛筆画は、障がいや加齢な
どによる困難と向き合う、力強い生き方を教えて
くれます。

常設展示室では、LOVE&LIFE 展の一部として、
LIFE ―人生―に注目した特集展示「Long Life
Artist」を行います。篠田桃紅(1913-2021)をは
じめ、生涯をかけて芸術に力を注いだアーティ
ストたちをご紹介します。

感染症の拡大によって、価値観や意見のす
れ違い、そこから生まれる言葉の暴力が目立つよ
うになったかもしれません。そんな今だからこそ、
アーティストたちが様々なテーマを通して表現し
た、愛のかたち、命のかたちに、ぜひ触れてみて
ください。



猪爪彦一 祖父のたまご 1996年 油彩、カンバス

全館展示で贈る 愛のかたち